

第38次宮城県社会教育委員の会議 意見書【概要版】

審議の背景

1 「第4期教育振興基本計画」(R5.6 閣議決定)

- 総合的な基本方針・コンセプト
【持続可能な社会の創り手の育成】
【日本社会に根差したウェルビーイングの向上】
- コンセプトの実現に向け、実効ある教育政策を進めるため
政策の目標と基本施策を示している
目標10 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
【基本施策】
 - ・社会教育施設の機能強化
 - ・社会教育人材の養成・活躍機会拡充
 - ・地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携

2 宮城県の状況

- (1) 第2期宮城県教育振興基本計画(改訂版)(R6.3)
【生涯にわたり学び、相互に多様性を認め、高め合い、幸福や生きがいを感じながら充実した人生を送ることができる地域社会をつくる】
 - ・誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実
 - ・多様な学びによる地域づくり
- (2) 県民意識調査
・「社会とのつながり」、「生活の楽しさ」の項目について、不満群が満足群を上回る

3 これまでの意見書

- (1) 36次「新たなステージに向けたオールみやぎの取組」
<目指す姿>「住んで楽しい! 学んで楽しい!
関わって楽しい! 私たちの地域」
- (2) 37次「世代をつなぐ協働力を育む～若者とともに～」
36次の目指す姿を実現するため、若者の地域活動への
参画促進手法について提言

4 公民館等社会教育施設の状況

- (1) 文部科学省「社会教育調査」
 - ・公民館数の減少、指導系職員数の減少
- (2) 宮城県教育庁生涯学習課「社会教育行政調査」
 - ・公民館職員の約4割が兼務職員
- (3) 社会教育拠点施設(公民館等)訪問実施報告
 - ・地元からの理解が得られず、ボランティアが集まりにくい
 - ・コロナ禍での事業中断によりノウハウ継承が途絶える
 - ・公民館事業のマンネリ化、利用者の固定化
 - ・中高生、現役世代等、若者の利用が少ない
- (4) 公民館等職員研修会アンケートから
 - ・予算や職員などのリソース不足
 - ・実践的なスキルを習得するための研修会への期待

審議テーマ

「みやぎを“カケル”公民館※」～住民と地域のウェルビーイングのために～

県内の先進的な取組や実践事例を参考に、公民館事業をより一層活性化させ、地域の力を引き出すことを目指し、県が行うべき取組とその方向性について審議するため、本テーマを設定

※社会教育法に基づく公民館に加え、公民館と同等の設置目的、事業内容が定められており、市町村が設置・所管する施設を含む

【これからの公民館に求められること】

- ・誰もが気軽に立ち寄れ、住民同士が対面によるつながりを育める場であること
- ・多様な選択肢の中から自らの意思で学びや活動を選択できる場であること
- ・学び合いや教え合いを通して喜びや生きがいを実感できる場であること
- ・住民の学びの成果が地域活動や地域づくりに還元されること
- ・事業の企画や運営に住民の意向が適切に反映されること

【公民館に関する市町村の役割】

- ・公民館を設置し、定期講座や講演会の開催等を通じて、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する

【公民館に関する県の役割】

- ・社会教育に携わる者の研修に必要な講習会の開催、資料の配布等を行う
- ・公民館が適切に運営されるよう、市町村に対し指導、助言その他の援助に努める

【県の取組と課題(▲)】

- ・研修会の実施…職員の専門性を育成し、資質と実践力の向上を図る
 - ▲県庁での開催が多い ▲担当業務との兼ね合いにより参加が難しい職員が存在
 - ▲参加者が固定化している
- ・社会教育拠点施設訪問(公民館等)…教育事務所社会教育主事による巡回訪問
 - ▲1、2年に1回の訪問であり、日常的な支援に結びつきづらい
- ・市町村サポート事業…市町村が抱える課題等に対して県がサポートチームを編成し、指導、助言
 - ▲事業の内容や活用事例のさらなる周知が必要
- ・地域力向上講座…地域づくりに関心を持ち、地域住民と共に課題解決に取り組む人材の育成
 - ▲開催地での継続的な取組や他市町村への実践の普及啓発が必要
- ・共生社会推進事業…学校卒業後の障害者の生涯学習プログラムの実践を支援
 - ▲県全域には広がっていないため継続的な働き掛けが必要 ▲他課室との連携が必要

提言 公民館が地域のコミュニティ拠点として活性化するため、特色ある取組等を参考に事業を実践しやすくなるよう次の提言をする

提言1 住民とともに地域の未来をつくる公民館

- ・公民館が日常的な交流の場や幅広い学びの機会を提供し、地域に根ざした拠点として、住民の自主的な活動を後押ししつつ、住民とともに地域の未来を描ける場であり続けることを期待

提言2 公民館事業の充実を図るための職員の研修機会の充実

- ・県教委によるアウトリーチ型、オンライン型研修の実施
- ・県教委の公民館訪問による伴走支援、個別相談の充実
- ・公民館職員が必要に応じて利用できる実践事例の紹介、HP掲載
- ・公民館職員等の社会教育主事講習受講促進

提言3 多様な主体との連携やネットワークづくりの支援

- ・学校・大学・地域団体等との連携事例の紹介
- ・県所管施設の活用促進、体験会の開催
- ・外部人材や協力団体と公民館が連携するための支援
- ・県内公民館相互の連携づくりの支援

